

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

被告人上告趣意は「一、私ハ昭和二十二年一月三日ニ近所ノA方ノ工場ニ侵入シ糸ヲ二丸半程盗ミマシタ「糸一丸一貫二百匁」其ノ日ハ正月ノコトデ私ハ弟等ト家デ遊ンデ居リマシタソコヘ今ノ共犯ノBトAノ二人ガ遊ビニ来マシタソシテ皆デ昼マデ遊ンデ居リマシタ昼ニナツタノデ二人ガ帰リマシタソシテ一時間ニ又二人デ来マシタソシテ映画ニ行カナイカト云ツテ来タノデ私ト三人デ布施ノ映画館ヘ行ク途中CトDトEノ三人ニ出逢ヒマシタ何処ヘ行クノカト聞イタデ映画ニ行クノダト云ツタラ俺モ行クカラ一緒ニ行カウト云ツテ六人デ映画ヲ見ニ行キ帰リハ四時過ギデシタソノ帰り道Aガ俺ノ伯父サンノ工場ニ糸ガ多クサンアルカラソレヲ取りニ行カナイカト云ヒマシタソナ物ヲ取ツテモ売ル所モナイノニ仕方ガナイト云ツテ皆ナガ話ニシマセンデシタガAガ五月蠅ク云ツテ居リマシタガ皆ナ何トモ云ハナイデ別レテ家ニ帰リマシタ其ノ晩Fガ一人私ノ家ニ来テ居リマシタスルト其処ヘBトAノ二人ガ来マシタ私ニ布施ニ行カナイカト云ヒマシタノデ布施ニ行ツテモ仕方ナイヨト云ヒマシタスルトコーヒヲ飲ミニ行カウト云フノデFガ行クト云ツタノデ私モ行ク氣ニナリマシタソシテ私ト四人デ私ノ家ヲ出テ行キマスト畠ニ出マシタソコニ八時ノCトD、Eノ三人ガ待ツテ居リマシタ其ノ時ニ又Aガ昼ノ話ヲ出シマシタ其ノ時ハ皆ナ行クト云ツテ居リマシタソコデBガ私トFニ行ケヨ皆ナガ行クト云ツテ来テ居ルカラFガ行クト云ツテ居ルカラ君モ行ケヨトAトFト二人ガ私ニ進メマカラ仕方ナクツイテ行キマシタソシテ現場ニ着キマシタ工場ノ勝手ヲAガ良ク知ツテ居ルガ入レナイカラCガ勝手ヲ知ツテ居ルカラCガ中ニ入ルト決マリマシタ一人デ行ケナイカラ誰カコイヨト云ヒマシタスルトDガ行クト出マシタ誰カモウ一人コイヨト云フノデ皆ナ私ニ行ツテクレト云ヒマシタノデ私ハ恐イカライヤダト云ヒマ

ストソコデ良イカラコイト云ヒマスカラ私モツイテ行キマシタソノ時私ハCノ出シタ糸ヲ裏マデ持ツテ行キマシタ外ニ待ツテ居ル者ガソノ糸ヲFノ家ニ持ツテ行キマシタ其ノ晩八別レテ帰リマシタ四日ノ朝Bガ来テ一人当り五百円ダカラコレオ貰ツテクレト云ツテ来マシタカラ私ハ貰ツテオキマシタコレガ始テデス。一、私ハ昭和二十二年二月十日九時半頃大阪府下中河内郡a村ノG方ニ強盗ニ入ツタ事ハ間違ヒアリマセン。私等ハ二月ノ初メ買出先ノ山形県カラ帰ツテ来マシタ其ノ帰ル途中汽車ノ中デ警察官ニ米ヲ取ラレテ帰ツテ来マシタソノ時ニハ買出モコレカラ行ツテモ又取ラレルカラ働ク所ガアレバ働コウト私ノオ母サントモ相談シテ居リマシタソノ時ニ共犯ノHガ私ノ家ニ来マシタ一度行カナイカト云ツテ来マシタソコデ私ハ行ツタ所デ金モナイカラ仕様ガナイカラヤメダト云ヒマシタソノ時ニHガ俺ノ兄サンカラ金ヲ貰ツタカラ俺ノ金ダ一回行キ其ノ後ハ俺ガナントカシテヤルカラ心配スルナヨIモ行クト云ツテ居ルカラ三人デ行カウヨソレ八九日ノ昼デシタ其ノ晩八買出ニ行ク積リダ大阪駅ヘ行キマシタガ行ツタ時ハ汽車ニ乗ル客ガ多く待ツテ居リマシタ其ノ時ニ今日ハ乗レナイヨト云ツテ居リマシタ其ノ汽車ニハ乗レマセンデシタ仕方ナク次ノ汽車ヲ待ツ事ニシタ待ツテ居ル時ニHガ今日ハ帰ツテ明日ニ行ク事ニシナイカ俺ハ今日行ク気がナイカラ明日ニ行クト云ツテHガ帰ツテ行タカラ私等モ金ガナイカライト二人デHヲ追ツテ行キマシタソシテ家ニ帰ルカト聞イタラ俺ハbノ旅館ニ泊マルカラ君等ハ帰ルカト聞キマシタ私モ弁当ヲ作ツテ来テ帰ルノハ面白クナイカラト云ヒマスストソレナラ一緒ニ行カウヨト云ツテ三人デbニ行キ旅館ニ着キ其ノ晩八寝ル事ニシマシタ其ノ時Hガ強盗ノ話ヲ持ち出シマシタノデ私トイト二人デソナ事ヲシナイデ明日山形ニ行カウト云ツテ三人ハ寝マシタ朝食ヲスマセテ出テ行ク途中Hガ俺ノ云フ事ヲ聞イテオケバ間違ヒナイカラ君等ハJ寺ノ近所ニ一軒建ノ家ヲ探シニ行ツテコイ其ノ家ヲ探シテ何ヲスルト聞イタラ強盗ニ行クト云ヒマシタノデソナ事ハイヤダト云ヒマシタスルト君等ハ行カナクテモ良イカラ家ヲ探シ

テ来テクレト云ヒマシタノデ二人デ遊ビ半分デ行キマシタ、其ノ時ニH八家ニ歸ツテFト二人ニ話ニ行ツタ事ハ後デ聞イテワカリマシタ c 駅ノ待合デHト逢ヒマシタ 畠ノ中ニ一軒建ガアルト云ヒマシタスルト今晚 d 駅デ皆ナト逢フ事ニナツテ居ルカラ今晚家ダケ教ヘテクレト云ツタノデ其ノ晩三人デ d 駅ニ行キマシタ其ノ時駅デ三人ガ待ツテ居リマシタソコデ私ト I ノ二人ニ君等モ行ケヨ此処マデ来タノダカラトニカク家ヲ教ヘルト云ツテ連レテ行キマシタ家ノ前迄来タ時Hガ私ニコレヲ持ツテ入ツテクレト日本刀ヲ私ニ出シマシタノデ私ハ歸ルト云ツタラソナ事ヲ云ハナイデ俺ニツイテコイト云ツテ聞カナイカラ私ハ日本刀ヲ持ツテHノ後ヲツイテ四人デ中ニ入りマシタガ私ハ恐シクテ中ニ入ルトスグ I ニ日本刀ヲ渡シマシタ私ガ中デウロウロウロシテ居ルトHガ来テコレヲ持ツテ裏カラ出テ畠ノ中ヘ持ツテ行ケ私ハソノ風呂敷ヲ持ツテ行ツテ待ツテ居ルトKガ又大キナ風呂敷ヲ持ツケ来マシタソコデ一緒ニ待ツテ居ルトHトIノ二人ガ一番後カラ出テ来マシタ皆ナFノ家ニ持ツテ行キマシタソシテ十一日ノ朝山形県ヘ行キマシタソシテ品物ハ全部Hガ売リマシタソシテ私ハ四千五百円ヲHカラ貰ヒマシタ一理由一、私ハ一度ナラズ二度三度も悪イコト致シマシタル事ハ誠ニ以テ悪イト思ツテ居リマス今度拘禁サレマシテ決シテ悪イ事ハ出来ナイト始メテ思ヒマシタ。只今私ノ申述ベマス事ヲ疑ヒノ目デ見ラレタラ私ガナント言ツテモソレハ机上ノ空論ニ等シキモノデス、此ノ上ハ私ト致シマシテハ甚ダ虫ノ良イ勝手御願ヒデハアリマスガ此ヨリ私ノ話シマス事ヲ一応御聞キ下サラン事ヲ切ニオ願ヒ致シマス私ガ今度致シマシタル強窃盗事件ニ付キマシテハ警察及ビー審又ニ審ノ裁判ノ時ニモ申シマシタ通り間違ヒアリマセン私ハ戦時中ハ旋盤工トシマシテ村ノL鉄工所ニ勤メテ居リマシタソシテ昭和二十年ニ中部二十九部隊ニ入隊致シマシタ間モナク終戦トナリ九月ノ末ニ復員シテ歸リマシタ歸ルトスグ元ノ工場ニ歸ツテ働イテ居リマシタガ親工場ガ閉鎖トナリ私ノ勤メテ居ル工場モ間モナク閉鎖ニナリマシタカラ仕方ナク遊ンデ居リマシタスルトHガ来マシテ正月モ

近ヅクカラ米ヲ買ニ行カナイカト云ツテ来マシタソコデ私モ遊ンデ居ツテモ仕方ナイカラハトAノ三人デ米ヲ買ヒニ行キマシタソレガ買出ノ始メデシタ其ノ内二元ノ勤メテ居ツタ工場ガ動く様ニナレバ働く積デ居リマシタソノ工場ハ今デモ止ツテ居リマスソウシテ居ル内ニ買出ニ行ツテモ米ハ取ラレル様ニナリ私モ何デモ取ラレマシタカラコンナ事ヲシテ居レバドンナ事ニナルカワカラナイカラ今ノ内ニ買出ヲヤメテ安イ収入デモ良イカラ働カナクテハト思ツテ居ル内ニ今度ノ様ナ窃盗事件ヲ起シテシマヒマシタ窃盗ノ時モ正月ガ過ギタラ働く積リデ働く所モ決マツテ居ルマシタ其ノ時ニハトIノ二人ガ来マシタソシテ今ハ寒イカラ少シ暖クナレバ俺等モ働くカラ其レ迄買出ニ行カウヨト二人デ云ツテ来マシタソコデ私ガツイフラフラフラト又一緒ニ買出ニ行キマシタソレガ悪カッタト私ハ今思ツテ居リマスアノ時ニ私ガ働イテ居レバ今度ノ様ナ強盗事件モ起サナカッタト思ツテ居リマス。一、私ガ米ヲ取ラレテ帰リマシタ時ハ働く気ニナツテ居リマシタガ其ノ時Hガ来マシタソシテモウ一度山形ニ行コウヨ金ハ俺ノ兄サンカラ貰ツテ来タカラ金ヲ貸シテヤル私ハ金ヲ君ニ貸リテ行ツテモシモ米ヲ取ラレタ時ニハ金ヲ返ヘスノニ困ルカラト云ヒマシタスルトソナ事ハ心配スルナ取ラレタラ取ラレタ時ノ事又ソノ時ハドウニカナルカラIモ行クト云ツテ居ルカラ行カウヨト云ツテ来マシタカラ三人デ行キマシタソシテ山形ニ行ク積デ三人デ大阪駅ヘ行ツテHガ明日行クト云ツテ三人デ旅館ニ泊ツタノガ悪カッタノデス十日ノ朝ニ私トIガ家ヲ探シニ行カナカッタラミンナ強盗ニ行カナカッタト裁判長殿ハ思ハレルデシヨウガシカシ探シニ行ツテ家ガナケレバ何処デモ行クカラトニカク行ツテ来テクレト云ヒマスカラ二人デ遊ビ半分デ行キマシタ其ノ時ニハ八家ニ帰ツテ外ノ共犯ニ相談ヲシニ帰ツテ持ツテ行ク道具ヲ貸リテ用意シニ行ツタ事ハ後デ聞イテワカリマシタ。此度ビ私ハ強悪ナル犯ヲ犯シ被害者ノ皆様ヲ始め社会ノ人々竝ビニ新聞紙上ヲ騒ガシマシタル事ハ誠ニ申訳ナイシダイデアリマス過去一年間ノ拘留生活中色々ト反省モ致シ社会ニ出マシタナラバ二度ト再ビコ

ノ様ナ恐シイ事ハ致スマイト日夜心ニ誓ヒ暮シテ参リマシタコレヨリ私ノ述ベマスル事ハ愚痴ニナリマスガドウカ裁判長殿ニハ私ノ苦シイ胸ノ内ヲ汲取りオ取上げ下サル事ヲセツニオ願ヒ致スシダイデアリマスー昨年二月マデ買出ヲシテ居リマシタシカシ私ト致シマシテハコノ様ナ商売ハ一時モ早クヤメテ真面目ナ商売デモシタイトソレバカリ思ツテ居リマシタガ勤メル所モナクツイズルズルズルト買出ヲヤツテ居リマシタガサイワイニ勤口モ決マリ真面目ニ働ケル日モ決マツテ居リマシタスルトアル日Hガモウ一度山形ニ行カナイカ金ハ兄サンカラ貰ツテ来タカラ貸シテヤルト云ヒマシタ私トシマシテハ勤メルニモマダ少シ日ガアリ小遣ニモ不自由ヲシテ居リマシタノデ一度山形ニ行キ帰ツテクレバ勤メルニモ都合ガ良イト思ツタノデHニ承諾シ家ニハ山形ニ行クト云ツテ出マシタ其ノ日ハ汽車ニ乗レナカツタノデHハ旅館ニ泊ロウト云ヒマシタ私モ弁当マデ作ツテ家ヲ出タ手前家ニ帰ル気モセズ旅館ヘ泊リマシタソノ晩Hハ私等ニ強盗ニ行カナイカト云ヒマシタガソナ悪イ事ヲセズニ山形ヘ行カウト云ツテ寝マシタソノ翌日別紙ニモ記シマシタル様ニ今度ノ犯罪ヲ犯シテシマヒマシタコノ時モ私ガ意志強固デアツタナラバコノ様ナ事ヲ犯サズニスダノデスガ意志薄弱ノ為遂ニ負ケ犯罪ヲ犯シテシマヒマシタ誠ニ申訳ナイシダイデスドウカオ許シ下サイ私ガ拘留サレテ居ル間ニ父親モ亡クナリマシタ家ニハ年老イタ母親ト小サイ弟ガアルバカリデスコノ世ノ中ヲドウシテ暮シテ行クノカト思ヒマストソレバカリガ気ニナリ一日モヂツトシテ居ラレナイノデスドウカ此上ハ裁判長殿ニオカセラレテハ情状酌量ノ上審理下サレ御寛大ナル処置ヲオ願ヒ致ス次第デアリマス。」

と云うのであるが所論は結局量刑の不当を主張する趣旨に帰着するから上告適法の理由とならない。従つて論旨は理由がない。

弁護人森時宣上告趣意書は「原審判決ハ其法条適用ニ方ツテ「法律を適用すると被告人の判示所為中窃盗の点は刑法第二百三十五条第六十条に強盗の点は同法第二

百三十六条第一項第六十条に該当し右は連続犯であるから第五十五条第十条により重い強盗罪とし」云々ト判示シ本件被告人ノ窃盗ト強盗ノ所為ヲ連続犯ノ成立アリトスルニ付テ何等意見モ開示シナケレバ将又説明モ加ヘテ居ラヌ。詳言スルト原判決ガ単ニ「右は連続犯であるから」ト判示シタ丈デ即チ唯ダ認定ソノモノデアツタ丈デ何が故ニ左様ニコノ二個ノ所為ヲ連続犯ト認ムルカノ理由ヲ欠如シテ居ル。顧フニ連続犯ノ判示方法ハ別ニ一定シテ居ル訳デハナイガ總テ判決ガ該当法条ヲ適用スルガ為メニハ其理由ノ説示ヲ必要トスル点カラ連続犯ニ関スル刑法第五十五条ノ適用ソノモノニ付テモ之ヲ例外トスベキ訳合ハナイ尠クトモ「此二個ノ所為ハ同種ノモノデアツテ短期間内ニ行ハレテ居ルカラ」ト云ツタ説明ヲ要スルコト勿論デアル。然ルニ上叙ノ通り原判決ハ此部分ニ於テモ将又判決全体カラシテモ被告人ノ二個ノ所為ヲ連続犯ト認メル理由ノ説示ガ何モナイノデ結局原判決ハ判決ニ理由ヲ附セナイト云フ違法アリトシテ破毀ヲ免レナイト確信スル。」

と云うのであるが、判文上被告人の所為が行為の日時、態様等から見て継続の意思に出たことを認めた趣旨であることが窺える場合ならば判文上特に犯意継続の事実を明示せず又更に之が証拠による説明をしないでも連続犯として処断することを妨げないところで、本件において原判決は被告人がF外五名と共謀の上昭和二十二年一月六日夜他家で窃盗をし、又更に同年二月一日夜右F外四名と共謀の上他家で強盗をした事実を判示し、短期間内に同種の犯行を反覆累行した事実自体によつて継続の意思に出たものと認めた趣旨であることを窺うに難くないから判文上特に犯意継続の事実を明示せず更に之が証拠による説明をしないでも、判示の窃盗及び強盗の所為に対し、刑法第五十五条を適用して連続犯として処断したのは正当であつて所論のような違法はないから論旨は理由がない。

よつて上告は理由がないから刑事訴訟法第四百四十六条により主文の通り判決する。

この判決は裁判官全員の一致した意見によるものである。

検察官 松岡佐一関与

昭和二十三年六月十二日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	塚	崎	直	義
裁判官	霜	山	精	一
裁判官	栗	山		茂
裁判官	小	谷	勝	重
裁判官	藤	田	八	郎